

五高立佞武多

第5号

青森県立五所川原高等学校

生徒会・立佞武多製作委員会・立佞武多同好会

五高立佞武多の歴史 ③



岩木双子馬捨 (H27) 富士見湖伝説 (H28) 道成寺 (H29) 浪切不動 (H30)



国引 (R1) 朝日行安 (R3) 大屋重左衛門 (R4) 菅原道真 (R5)

27年度は「五所川原市観光協会会長賞」を受賞、28年度はついに最高賞である**市長賞を受賞**しました。29年度は久々の二人ねぶたに挑戦した「道成寺」で出陣しました。紙貼り作業がなかなか進まず、製作が遅れてしまい、組立前日の午後9時過ぎにやっと完成するというぎりぎりの作業状況でしたが、「ごしょつがる農業協同組合長賞」を受賞することができました。30年度は運行20周年ということで、第1回の題材と同じ「不動明王」で出陣し、「五所川原市観光協会会長賞」を受賞しました。令和元年度は、新元号となり、五高が110周年という大きな節目を迎えたこともあり、五高生も新たなスタートを切るという気持ちを込めて「国引」で出陣し、「五所川原駅長賞」を受賞しました。

製作進行状況

7月に入り、同好会の生徒や同好会コーチ・OB、保護者の協力を得て、紙貼りが大分進んできましたが、高欄の製作も始まっており、五高立佞武多完成には多くの生徒の協力が必要になっています。是非ご協力をお願いします。

立佞武多同好会メンバー随時募集中

令和2年度はコロナ禍により、立佞武多祭り自体が中止となったため、立佞武多の製作そのものが残念ながら中止となってしまいました。令和3年度もコロナ禍で五所川原市の祭りは中止となってしまいましたが、学校のグラウンドで独自に運行し、「朝日行安」で出陣しました。令和4年度は3年ぶりに五所川原市の祭りが開催され「大屋重左衛門」で出陣しました。令和5年度は、コロナ禍前の祭りの形に戻り、「菅原道真」で出陣しました。

